

【整形外科】

1. 概要・特徴

整形外科は運動器を治療対象としており一般外傷だけではなく、重度外傷、スポーツ外傷、加齢に伴う変性疾患、脊椎疾患など分野が広範囲にわたる。また、診断、治療（保存治療、手術治療）、フォローアップまで整形外科だけで完結することができる疾患が多いのが特徴である。

当院はオホーツク医療圏の地方センター病院という特性上、様々な症例を経験することが可能である。

2. 一般目標

- 整形外科疾患について診断を行い適切な治療方針を決定することができる。
- 治療に必要な薬剤の知識、ブロックや関節注射の手技、手術の基本的な手技を習得する

3. 行動目標

- 患者の病歴など必要な情報を聴取し診断に必要な検査をオーダーできる。
- 診断を行い患者の ADL、状態に合わせて適切な治療方針を決定できる
- 救急外来で適切な初期対応ができる

4. 研修方略

最初の 1 カ月

外来/救急外来

指導医の指導の元、問診、診察、検査オーダーを行う

手術

助手として手術に参加し縫合、スクリュー挿入等の基本手技の習得をする

2 か月以降

外来/救急外来

指導医の元、主治医として診察、治療方針の決定、患者様への説明を行い実際に治療を行う。

手術

(典型的な) 手関節、足関節、大腿骨近位部骨折の骨折に対し指導医の元、執刀を行う。

※2回目以降ローテートする場合は指導医・上級医が研修医のレベルを見極め個別に判断し研修を実施する。

5. 週間スケジュール

	mon	tue	wed	thu	fri
A M	外来	外来	外来	外来	外来
P M	手術 学生外来	手術 股関節検診	手術	手術	手術 学生外来
そ 他	リハビリカンファ (8:00～) 病棟カンファ (手術終了後)			新患カンファ (手術終了後)	

6. 指導体制

指導責任者 副院長兼第一整形外科部長 菅原 修
指導医 第二整形外科部長 中川 宏士

7. 評価方法

北見赤十字病院初期臨床研修プログラムの規定に準ずる